

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	代表取締役 柳澤美穂	法人・事業所の特徴	1.【個別ケア】ひとりひとりが歩んでこられた人生への理解と共感に基づき、自立支援を基盤としたケアを行います。 2.【認知症ケア】認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、安心して過ごせる居場所と関りを提供します。 3.【看取りケア】穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちが迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族様に寄り添い支えます。 4.【地域ケア】住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように、各組織や地域住民の方々との連携を図り支えます。
事業所名	あったかほーむ桜花	管理者	小林孝章		

出席者 (構成)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	*自己評価を全員に配付して改善計画の取組みを行う。 また、改善計画内容を定期的に会議の中で読み上げ意思統一を図り、途中経過についても確認して意見を出してもらおう。	自己評価は全員に配付し改善計画の取組みを行うことができたが、内容については職員の入退等があり、毎月の会議で報告ができず途中経過の確認や意思統一が思うように図れなかった。	*比較的計画が「何をやる」という点において具体的に記入されていたので、できたかどうか評価し易く取組みやすかったのではと思います。「適切な計画と考えます。」 *利用者様がいらっしゃるため全職員は難しいと思いますが、改善計画が周知徹底され共有できて実施されている様で良いと思います。	*自己評価を全員に配付し、改善計画を定期的に会議の中で読み上げ意思統一を図る。 また、途中経過についても確認して意見を出してもらい改善計画の取組みを進める。
B. 事業所のしつらえ・環境	*玄関や施設内の飾り付けや落ち着いた居心地の良い空間作りを行う。 また、コロナ状況を見ながら行事の計画及び回覧・ブログ・インスタグラム等で情報発信を行う。	*玄関にはプリザーブドフラワー等を飾り、施設内の飾りも幼稚にならないように工夫することができた。 また、行事はコロナが5類になったが、状況を見ながら外出等も含め行うことができた。 地区内は回覧板で施設新聞を廻し、ブログ・インスタグラムでも情報発信を行った。	*季節ごとの飾り付けがあり工夫されているので季節を感じられます。 *事業所内の季節ごとの飾りも「子供っぽくならず、利用者様と共に作る」工夫されて好印象です。 *玄関と別に事業所と直接つながる窓があるので、感染症まん延期も対面で安心して情報提供でき良いと思います。	*引き続き玄関や施設内の飾り付けや落ち着いた居心地の良い空間作りを行う。 また、コロナ状況を見ながら無理のない行事計画の立案及び区内回覧の継続・ブログ・インスタグラム等で情報発信を行う。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、地域のイベントへの参加及び施設の行事を計画して地域の方々に参加をしてもらい交流を深める。引き続き、回覧板で施設の様子を知らせ相談等も受ける。</p>	<p>*コロナが5類になったが、地域のイベントは中止となり交流はなかったが、区の回覧板で施設の様子を知らせることができた。相談については特になかった。</p>	<p>*回覧板でのお知らせも読みやすく作られていると思います。 *地域との関わりを持つことに積極的な事業という印象です。</p>	<p>*コロナが5類になったので状況を見ながら、地域のイベントへの参加及び施設の行事を計画して地域の方々に参加をもらい交流を深める。 *回覧板の継続と何か困りごとがあった時など相談を受ける。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>*近所・民生委員の方から情報をもって共有をし、更に地域包括支援センターと連携を図って取り組んでいく。 *コロナ禍で状況を見ながら地域の行事やイベントへの参加及び外出等を行う。</p>	<p>*地域包括支援センターや地域の民生委員とは必要時に応じて電話等で情報共有を行うことができた。 *コロナが5類になったが、地域の行事やイベントへの参加はしなかった。</p>	<p>*外出等のイベントが行われている報告で良くわかります。 *感染症対策と地域活動への参加は、なかなか両立し難いと思います。 *利用者様を「桜花の利用者様」ではなく、「〇〇区で暮らしていて、〇〇区で過ごす方」と視点を変えた対応を考えることも良いと思います。</p>	<p>*地域の民生委員と地域包括支援センターとの連携を図り、情報をもって共有しながら取り組んでいく。 *コロナが5類になったので、状況を見ながら地域の行事やイベントへの参加及び外出等を行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、施設での運営推進会議の開催を検討、スタッフにも交替で出席してもらおう。 新しい委員には来所時に施設見学をして頂く。</p>	<p>*コロナが5類になり、状況を見ながら、第1回目から運営推進会議の開催することができた。スタッフも勤務状況を見ながら交替で出席することができた。また、新しい委員も含め施設内を見学して頂いた。</p>	<p>*施設等を見学させて頂いたので雰囲気等が分かりました。 *様々な話題をざっくばらんに話し合うことで、地域の、市民の、そして桜花の現状と課題、支援のヒントになる内容が共有できると思います。 *毎回積極的に、定期的に行っていることも良いと考えます。 *なかなか繋がりがはっきりしない部分もありますが、今後は少しずつ理解をしながら会議内容を活かしていきたい。</p>	<p>*施設での取組みについては解りやすく説明をし、地域の心配の方や様々な話題についても話し合いを行い支援の取組みに繋げる。 *引き続き勤務調整をしてスタッフにも交替で出席してもらおう。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>*年2回災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）、非常食備蓄状況の確認・自家発電機の操作説明及び消防訓練を実施、うち1回は夜間想定をした緊急連絡網で連絡を実施する。（コロナ過で状況を見ながら区長・消防団・推進委員等にも参加して頂く）</p>	<p>*5月・11月に災害訓練及び消防訓練を実施し、夜間想定 of 緊急連絡も行うことができた。 また、自家発電機を設置及び操作方法についても説明も行った。 *市の消防署員も参加いただき、指導を受けることができたが、地域の消防団・推進委員・施設近隣への参加要請はしなかった。</p>	<p>*BCP作成済と言うことなので、緊急時の活用できるよう共有をお願いします。 *近年の異常気象に困り、思いかけない災害への対応を迫られる場面も多々あると思います。日頃の訓練を通じて備えて頂ければと思います。</p>	<p>*引き続き、年2回災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）、非常食備蓄状況の確認・自家発電機の操作説明及び消防訓練を実施、うち1回は夜間想定をした緊急連絡網で連絡を実施する。（コロナが5類になったので、状況を見ながら区長・消防団・推進委員にも参加して頂く）</p>
----------------------------	--	---	---	--